

平成 31 年 度

秋田県立大学大学院 生物資源科学研究科
博士前期課程

学 生 募 集 要 項

【 推 薦 特 別 選 拔 】

平成30年 5 月

秋田県立大学大学院生物資源科学研究科 博士前期課程

◎平成31年度入学者選抜試験

入学定員・募集人員・入学試験関係日程

生物資源科学専攻【入学定員28名】			
試験区分	平成30年7月 実施試験	平成30年8月 実施試験	平成31年2月 実施試験
	推薦特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜 学部3年次学生を対象とする特別選抜
募集人員	28名程度		若干名
入学資格審査 申請期間	平成30年5月14日（月） ～5月18日（金）	平成30年6月25日（月） ～6月29日（金）	平成30年12月3日（月） ～12月7日（金）
出願期間	平成30年6月4日（月） ～6月8日（金）	平成30年7月20日（金） ～7月26日（木）	平成31年1月31日（木） ～2月6日（水）
試験期日	平成30年7月7日（土） 学力検査・面接	平成30年8月17日（金） 学力検査・面接	平成31年2月28日（木） 学力検査・面接
合格者発表	平成30年7月12日（木） 13：00予定	平成30年8月30日（木） 13：00予定	平成31年3月6日（水） 13：00予定
入学手続	平成30年7月24日（火） 25日（水）	平成30年9月11日（火） 12日（水）	平成31年3月14日（木） 15日（金）

◎平成30年度10月入学者選抜試験

入学定員・募集人員・入学試験関係日程

生物資源科学専攻【入学定員28名】	
試験区分	平成30年8月実施試験
	一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜
募集人員	若干名
入学資格審査申請期間	平成30年6月25日（月）～6月29日（金）
出願期間	平成30年7月20日（金）～7月26日（木）
試験期日	平成30年8月17日（金）学力検査・面接
合格者発表	平成30年8月30日（木）13：00予定
入学手続	平成30年9月11日（火）12日（水）

目 次

1	生物資源科学研究科について	1
(1)	アドミッション・ポリシー	1
(2)	カリキュラム・ポリシー	1
(3)	ディプロマ・ポリシー	2
2	募集する専攻及び募集人員	3
3	出願資格	3
(1)	出願資格	3
(2)	入学資格審査	3
4	障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	4
5	出願期間及び出願方法等	4
(1)	出願期間	4
(2)	出願方法	4
(3)	入学検定料	4
(4)	出願先	5
(5)	出願書類	5
(6)	出願上の注意事項	6
(7)	入学検定料の返還請求について	7
6	選抜方法等	7
(1)	試験期日	7
(2)	選抜方法	7
(3)	試験時間割	7
(4)	配点	7
(5)	試験会場	7
(6)	受験上の注意	8
7	合格者発表	8
(1)	発表期日	8
(2)	発表方法	8
(3)	インターネットによる合格者受験番号の提供	8
8	入学手続、初年度納付金等	8
(1)	入学手続	8
(2)	初年度納付金等	8
(3)	その他	9
9	入学試験成績の開示	10
10	個人情報の取扱いについて	10
	【キャンパス案内図】	11
	【出願書類の記入例及び記入上の注意】	13
	◎秋田県立大学大学院生物資源科学研究科の案内	16

1 生物資源科学研究科について

(1) アドミッション・ポリシー

①博士前期課程

学部教育の基礎に立って、さらに高度で先端的な厚みと広がりを持つことにより発展的な未来を切り開く高度専門職業人を目指す人材を受け入れます。

上記に加え、次のような資質を持つ人を求めています。

生物資源科学専攻

- ・生物資源科学に関するより高度な専門性を身に付け、それを取り巻く社会的背景への幅広い視野やものの見方・考え方や実地調査や機器分析における技術と手法を兼ね備えて、これらを企業や公務等において効率よく運用できるマネジメント能力をあわせ持って活躍することを目指す人

②博士後期課程

広い視野と独創性や創造力をもって問題解決に挑む高度技術研究者を目指す人材を受け入れます。

上記に加え、次のような資質を持つ人を求めています。

生物資源科学専攻

- ・生物資源科学に関して、前期課程での研究実績に見合った専門知識と問題発見・解決に向かう思索力、問題解決を推進できる意欲と創造力を有し、それらを大学・研究機関・ベンチャービジネス等で発揮することを目指す人

(2) カリキュラム・ポリシー

①博士前期課程

高度専門職業人として必要な基礎的な知識・技術から文化、倫理まで幅広い内容を学際的に学べる授業科目と、教員の専門性を活かした講義・実習科目を開講します。

専攻では、次のような人材育成のための特色ある科目を開講します。

生物資源科学専攻

- ・生物資源科学に関連する幅広い分野の専門性と視野、実践的な問題解決やマネジメントの能力を身に付けるため、オムニバス形式の講義科目や実験実習科目、テクニカルスキル科目を設けます。また、修士学位論文研究の成果を学会発表させ、少なくとも1報以上を主著者として口頭またはポスター発表できるよう指導する教員体制を設けます。

②博士後期課程

前期課程で培った専門知識の深化と問題発見・解決力を高めるため、研究指導と公表論文の指導に注力して研究力を身に付けさせます。また、研究力を実践に活かすために必要な幅広い視野、企画力、マネジメント能力、討論力等を養う教育プログラムを展開します。

専攻では、次のような人材育成のための特色ある科目を開講します。

生物資源科学専攻

- ①広範な専門知識および高度な問題発見・解決能力を活かして、独創的な研究を発展させていく研究力をつけるため、以下の教育体制と教育プログラムを設けます。
- ②研究推進と公表論文作成に不可欠な討論の機会を増やすため、主指導・副指導教員を必ず設けます。修了要件として、課程中盤での公開中間発表と査読付学術誌への2報以上の論文発表（うち少なくとも1報は主著者）を義務付けます。英語での学術発表を指導する英語プレゼンテーション科目を設けます。
- ③幅広い視野、企画力、マネジメント能力、討論力の涵養を図るため、学生の企画・運営による特別セミナーの開催を支援し、課程期間中の学外短期研究研修制度を設けます。

(3) ディプロマ・ポリシー

①博士前期課程

高度専門職業人として、学部教育の基礎に立って研究開発能力を育み、生物資源科学に関わる知識と思索力に、更に高度で先端的な厚みと広がりを持たせることにより、発展的な未来を切り開く能力を身に付け、修了に必要な単位を修得した学生に学位を授与します。

専攻を通じ、修得すべき能力は以下のとおりです。

生物資源科学専攻

- ①生物資源科学に関するより専門的な知識や実地調査や機器分析における技術と手法を兼ね備え、実社会で活躍できる能力
- ②生物資源を取り巻く社会的背景への幅広い視野やものの見方・考え方を身に付け、実社会で役立つマネジメント能力

②博士後期課程

高度技術研究者として、前期課程の基礎に立って研究開発能力を高め、複数の分野を俯瞰して広い視野で物事を分析し、問題の提起と解決を行う能力を身に付け、修了に必要な単位を修得した学生に学位を授与します。

専攻を通じ、修得すべき能力は以下のとおりです。

生物資源科学専攻

- ・生物資源科学に関する広範な専門知識および高度な問題発見・解決能力を活かして、生物資源科学の課題に対し、先端的なアプローチ方法や解決方法を開拓して、独創的な研究を発展させていく能力

2 募集する専攻及び募集人員

入学定員及び 募集人員 専攻名	入学 定員	募 集 人 員		
		平成30年7月 実 施 試 験	平成30年8月 実 施 試 験	平成31年2月 実 施 試 験
		推 薦 特 別 選 抜	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外国人・帰国子女特別選抜	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外国人・帰国子女特別選抜 学部3年次学生を対象とする特別選抜
生物資源科学専攻	28	28名程度		若干名

3 出願資格

(1) 出願資格

学業及び人物共に優れ、所属する大学又は高等専門学校等の指導教員が責任をもって推薦でき、かつ合格した場合には入学を確約できる者で、以下の出願資格①～⑧のいずれかに該当する者が出願できます。

- ① 大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- ② 独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者〔旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者等〕
- ⑧ その他大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、平成31年4月1日までに22歳に達する者

(2) 入学資格審査

- ① 出願資格⑧により出願を希望する者については、入学資格審査を行います。入学資格審査を受けるにあたっては、次の期間内に申請が必要となりますので、下記ii)の各書類を後記

出願先まで提出してください。(郵送の場合は、入学資格審査申請期間最終日の17:00必着とし、「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。持参の場合の受付時間は9:00～17:00までとします。)

i) 入学資格審査申請期間

平成30年5月14日(月)～5月18日(金)

ii) 入学資格審査に必要な書類

書 類 名	摘 要
入 学 資 格 審 査 申 請 書	様式は本学のホームページからダウンロードし、必要事項を記入してください。
履 歴 書	様式は任意です。
研 究 業 績 書	様式は任意とし、論文要旨、論文発表業績または研究業績のいずれかを提出してください。
返 送 用 封 筒 (入学資格審査結果送付用)	長形3号の封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、82円切手を貼付してください。

② 入学資格審査の結果は、次の期日までに本人あてに通知します。

平成30年6月4日(月)

4 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本大学院に入学を志願する者で、障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別の配慮を希望する場合は、後記「出願先」まで、できるだけ早く事前相談を行うようにしてください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者に連絡をとることもあります。また、希望する配慮を必ずしも実施できるとは限りません。期限は平成30年5月18日(金)までとします。

また、上記期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに連絡してください。

5 出願期間及び出願方法等

(1) 出願期間

平成30年6月4日(月)～6月8日(金)

(2) 出願方法

- ① 出願は同封の出願用紙及び封筒を用い、書留速達による郵送又は持参により行ってください。
- ② 郵送の場合は、6月8日(金)17:00必着とします。持参の場合の受付時間は9:00から17:00までとします。
- ③ 指導教員等が変更になる場合がありますので、出願者は、出願前に必ず志望指導教員と連絡をとるようにしてください。

(3) 入学検定料

30,000円

(4) 出 願 先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

TEL 018-872-1535 FAX 018-872-1670

(5) 出願書類

次の書類を原則としてすべて提出してください。※印の書類は該当者のみ提出してください。

書 類 名	摘 要
A 票 入 学 志 願 票	① 「提出書類の記入例及び記入上の注意」及び「秋田県立大学大学院生物資源科学研究科の案内」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。 ② 志望グループ及び志望指導教員は必ず記入してください。
B 票 受 験 票	① 「出願書類の記入例及び記入上の注意」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。 ② 縦4cm×横3cmの写真（正面上半身、無帽、背景なしで出願前3か月以内に撮影したもの）を貼付してください。
C 票 写 真 票	
D 票 住 所 票	① A票（入学志願票）の連絡先と同じ住所を記入してください。 ② 入学手続等の連絡を行うために使用します。
E 票 入 学 検 定 料 振 込 用 紙	① 入学検定料30,000円をE票（入学検定料振込用紙）を使用し、金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）で振り込んでください。また、ATM（現金自動預払機）での振り込みはできません。 ② 振込手数料は志願者本人の負担となります。 ③ 入学検定料は、次の期間に振り込んでください。 平成30年5月28日（月）～6月8日（金）〔15:00まで〕 ④ 振り込み後、収納印を受けたE-3票（検定料振込証明書）をA票（入学志願票）の所定の欄に貼付してください。
F 票 志 望 理 由 書	本大学院所定の用紙に志望理由を記入してください。
G 票 受 験 票 送 付 用 封 筒	「受験票」送付用としますので本大学院所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手を貼付してください。
H 票 出 願 用 封 筒	本大学院所定の封筒の「志願者欄」等に必要事項を記入し、書留速達扱いにしてください。
※ I 票 業 績 レ ポ ー ト	出願資格⑧に該当する者は本大学院所定の用紙に業績を記入してください。

書 類 名	摘 要
J 票 推 薦 書	本大学院所定の用紙に、出身又は在籍している大学又は高等専門学校等の指導教員が記入のうえ厳封したものを提出してください。
卒業（見込）証明書 又は学位授与 （申請受理）証明書	① 出身大学の学長等、又は大学評価・学位授与機構が発行する証明書を提出してください。 ② 大学評価・学位授与機構に学位授与申請中の場合は、同機構が交付する学位授与申請受理証明書を提出してください。
成績証明書	出身大学の学長等が発行する成績証明書を厳封して提出してください。
※住民票又は パスポートの写し	日本に住所を有する外国籍の者は、住民票（出願前3か月以内に発行したもの）を提出してください。受験のために来日する外国籍の者は、パスポートの写しを提出してください。
※受験承諾書	企業等に在籍のまま本大学院に入学する希望のある者は、企業等の所属長が作成した受験承諾書を提出してください（様式は任意とします）。
※受験許可書	他の大学院に在学中の者は、当該大学院が発行した受験許可書を提出してください（様式は任意とします）。
※その他本学が 指定する書類	入学資格審査の結果、必要と認められる書類について連絡があった場合提出してください。

【注】各種証明書等の中で提出が困難な書類の取扱いについては、出願までに前記出願先までお問い合わせください。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願にあたっては、「秋田県立大学大学院生物資源科学研究科の案内」を参照の上、必ず志望指導教員に問い合わせてください。問い合わせの際は、前記出願先に連絡してください。
- ② 出願書類に、次のような不備のあるものは受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入もれ、誤記のあるもの
- ③ 出願書類の記入にあたっては、13ページ以降の「出願書類の記入例及び記入上の注意」を参照してください。
- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所及び電話番号に変更があった場合は前記出願先まで連絡してください。
- ⑤ 受験票は、出願処理後、本人宛に送付します。6月22日（金）までに受験票が届かない場合は、前記出願先までお問い合わせください。
- ⑥ 外国から本大学院受験のために来日する者は、日本国への入国に必要な書類の発給に時間を要する場合がありますので、発給元に所要時間、必要書類を確認するなど受験に間に合うように十分注意してください。

- ⑦ 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「秋田県立大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際し厳格な審査を行っています。規制事項に該当する場合は、希望する教育や研究が受けられない場合がありますので、注意してください。
- ⑧ 一度受理した出願書類は返却しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額
(ア) 入学検定料を振り込んだが、出願しなかった場合	30,000円
(イ) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合	30,000円

※実際の返還額は、振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、振込済みの検定料振込証明書を同封して請求してください。

送付先：〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：平成31年2月28日（木）

注意）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

6 選抜方法等

(1) 試験期日 平成30年7月7日（土）

(2) 選抜方法

- ① 学力検査、書類審査・面接を総合して行います。
- ② 学力検査の出題科目は、英語（英文読解）です。

(3) 試験時間割

	時 間
学力検査（英語）	11：00～12：00
面 接	13：00～

(4) 配 点

学力検査（英語）	書類審査・面接	合計
100	200	300

(5) 試験会場 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学秋田キャンパス（【キャンパス案内図】参照）

(6) 受験上の注意

- ① 当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
また、受験票は、入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、面接開始30分前までに指定された試験室に入室し着席してください。
- ④ 学力検査開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。また原則として、途中退室は認めません。
- ⑤ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取扱います。
- ⑥ 学力検査、面接のいずれかを受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑦ 携帯電話等は、事前に必ず電源を切ってください。また、これらは時計として使用できません。
- ⑧ その他必要な事項が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

7 合格者発表

(1) 発表期日 平成30年 7 月12日（木） 13：00予定

- (2) 発表方法
- ① 合格者の受験番号を秋田キャンパス正面玄関に掲示し、合格者に合格通知書を送付します。
 - ② 電話等による問い合わせには、一切応じません。

(3) インターネットによる合格者受験番号の提供

秋田県立大学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。

アドレス <http://www.akita-pu.ac.jp/>

※インターネットによる情報提供は、受験者の便宜を図るために行います。正式の合格者発表は上記(2)により行いますので、必ず確認してください。

8 入学手続、初年度納付金等

(1) 入学手続

- ① 入学手続期間 平成30年 7 月24日（火）・25日（水）
(受付時間：各日の 9：00～17：00)
- ② 入学手続場所 秋田県秋田市下新城野字街道端西241－438
秋田県立大学秋田キャンパス
- ③ 入学手続方法 入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

(2) 初年度納付金等

① 入 学 料

ア 金 額 秋田県内の者 282,000円
上記以外の者 423,000円

(注)「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者をいいます。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者

- 二 配偶者又は1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらに準ずるとして理事長が認めた者
- イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従い、入学手続の際に納付してください。なお、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付した入学金は返還しません。

② 授 業 料

ア 金 額 年額 535,800円

- イ 納付方法 前期（納付期限4月30日）、後期（同10月31日）の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) そ の 他

① 授業料の減免

家庭の経済的事情や不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対する授業料の減免制度があります。

② 奨 学 金

ア 独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金として、「第一種奨学金（無利子貸与）」と「第二種奨学金（有利子貸与）」があります。

第一種奨学金及び第二種奨学金の平成30年度貸与月額はおおのこです。

種 類	貸 与 月 額
第一種奨学金 (無利子貸与)	50,000円又は88,000円から選択
第二種奨学金 (有利子貸与)	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円又は150,000円から選択

- イ この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

③ 特待生制度について

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する特待生制度があります。

④ 後援会について

本学には、学生の各種活動を経済的に支援するための後援会があります。

後援会は、学生の父母・保証人を会員として組織している団体です。主な活動としては、後援会加入学生を対象として「学生教育研究災害障害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」に一括加入しているほか、クラブ活動や就職講座の受講等への助成等を行っています。

後援会費は2年間で20,000円です。なお、入学手続関係書類に後援会の入学案内及び会費納入方法のお知らせを同封しますので、趣旨をご理解の上、入学手続と併せ、入会の手続きをお願いします。

⑤ 長期履修学生制度について

本学には、長期履修学生制度があります。詳しい内容を知りたい方は、前記出願先までお問い合わせください。

◎長期履修学生制度

社会人など職業を有する者で、1年間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、本研究科の修業年限を超えて在学しなければ課程を修了することができないと

考える者に対して、申請に基づき、大学が審査し、在学年限の範囲内で計画的に課程を履修し修了することにより学位の取得を認める制度

9 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、本人に限って、次により口頭で請求し、その場で閲覧することができます。ただし、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、不合格者のみの開示となるので、注意してください。

① 請求の方法

本人が、開示場所（秋田県立大学教育本部（秋田キャンパス））に出向いて請求してください。郵送による請求はできません。

また、請求者が本人であることを確認するため、必ず受験票を持参してください。

② 開示する情報

- ・ 得点
- ・ 評価（ランクにて表示）

③ 開示する期間

合格者発表の日から 1 か月間（土・日を除く）

④ 入学試験成績の開示についての問い合わせ先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

TEL 018-872-1535 FAX 018-872-1670

10 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて取扱います。

① 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。

- ・ 入学者選抜（出願手続、選抜実施）
- ・ 合格者発表
- ・ 入学手続
- ・ 次年度以降の学生募集

② 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。

③ 出願にあたって知り得た個人情報は、入学者についてのみ、次の業務を行うために利用します。

- ・ 教務関係（学籍、修学指導等）
- ・ 学生支援関係（奨学金申請等）
- ・ 授業料徴収

④ 本学に出願した者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

【キャンパス案内図】

秋田キャンパス案内図

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

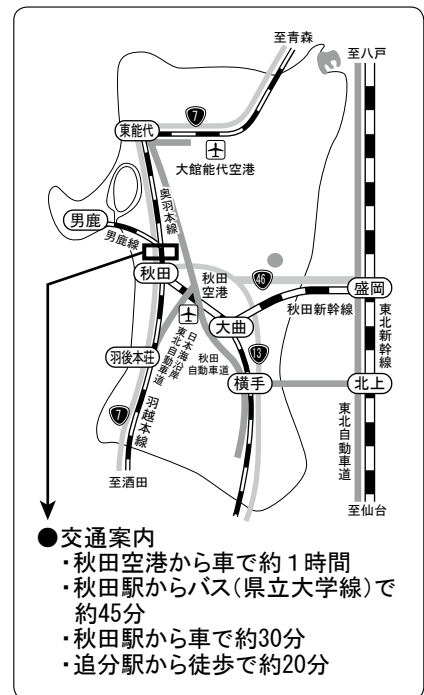
TEL 018-872-1535

FAX 018-872-1670

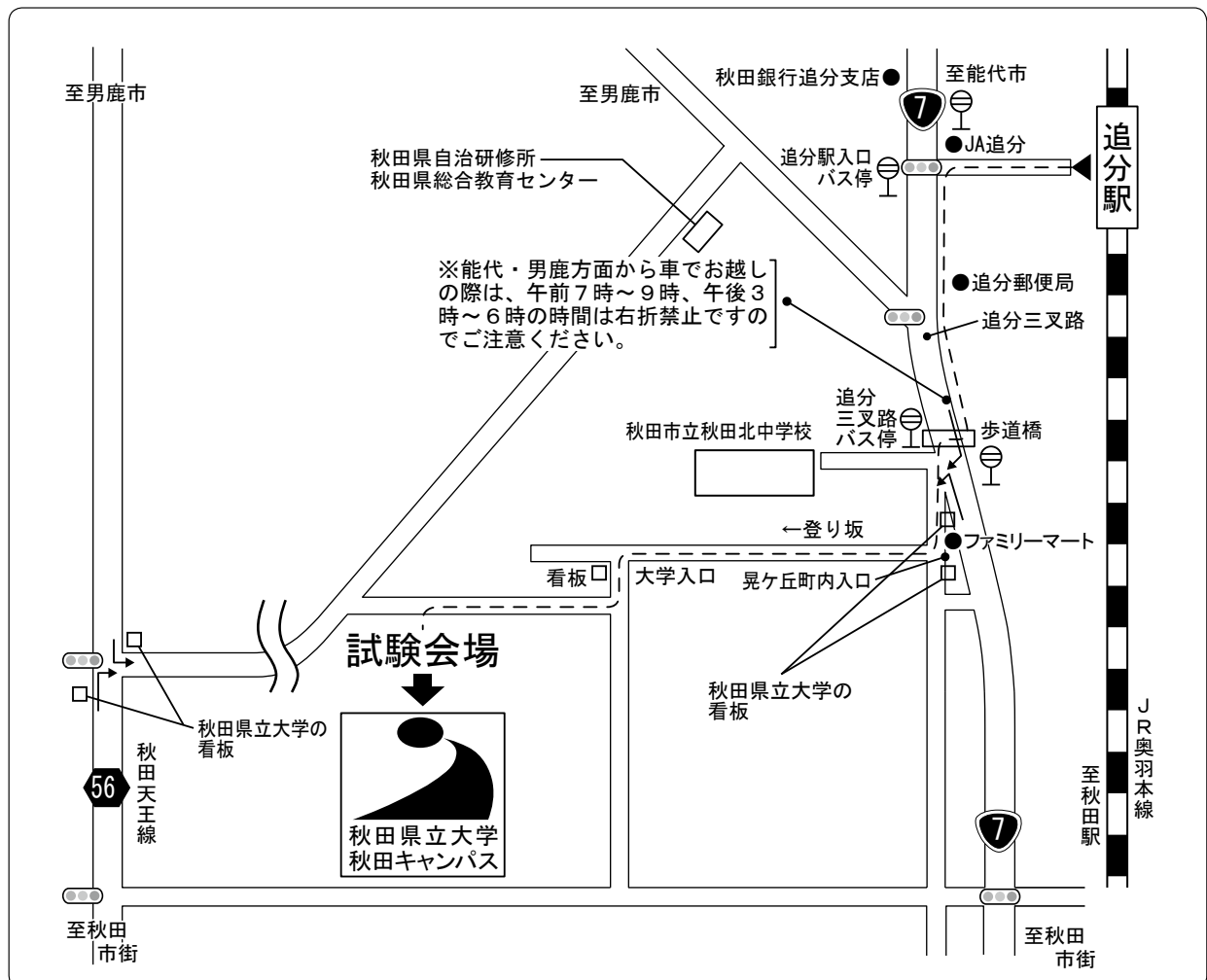
秋田キャンパスまでの交通

鉄道利用：JR奥羽本線・男鹿線「追分駅」にて下車後、
徒歩約20分

バス利用：ＪＲ奥羽本線「秋田駅」から五城目線、追分線
を利用して、バス停「追分三叉路」にて下車後、
徒歩約10分



抃大凶





大潟キャンパス案内図 〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村字南2-2
 TEL 0185-45-2026 FAX 0185-45-2377
 秋田空港から車で約1時間30分
 秋田駅から八郎潟駅までJRで約30分
 八郎潟駅から車で約20分



木材高度加工研究所案内図 〒016-0876 秋田県能代市字海詠坂11-1
 TEL 0185-52-6900 FAX 0185-52-6924
 秋田空港から車で約1時間30分
 大館能代空港から車で約1時間
 秋田駅から能代駅までJRで約50分
 能代駅から車で約10分

【出願書類の記入例及び記入上の注意】

(黒色ボールペン又は黒色インクで記入)

平成31年度 秋田県立大学大学院 推薦特別選抜 入学志願票 【博士前期課程】

A 票

受験番号

※

何も記入しないでください。

選 抜 区 分	推薦特別選抜
志望研究科	生物資源科学研究科
志 望 専 攻 ・ グループ	生物資源科学専攻 微生物機能 グループ
志望指導教員	秋田 太郎

注1) 志望グループについては、内に名称を記入してください。

注2) 志望指導教員については、内に氏名を記入してください。

志 願 者	氏 名	(カナ) アキタ コマチ
	(漢字) 姓 秋 田	名 こ ま ち
	性別・生年月日・国籍	男 ・ ☒ 女 ☐ 昭和 09 年 01 月 05 日生 ☒ 日本 ・ 外国
	住 所	〒 010 0195 秋田市下新城 中野字 海 道 端 西 241番 535号 県大アパート 101号
履 歴	電 話 番 号	018 - 872 - 1535 局番の間は“－”(ハイフン)を記入
	学 歴 (高等学校以上)	H27.3.31 私立秋田学院高等学校普通科卒業 H27.4.1 秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科入学 H31.3.31 同 上 卒業見込
	書 職 歴	
	取得学位	31 H30.3.31 学士 (生物資源科学) 取得見込
出願資格の区分	推薦特別選抜 ☒ 1. ☒ 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8	

入学手続書類を送付する場所と日中に連絡の取れる電話番号を記入してください。

濁点、半濁点は1文字を使用し、左から詰めて記入してください。

生年月日は和暦で記入してください。生年月日の数字が1けたの場合「01」のように「0」を記入してください。

訂正する場合は、二重線で訂正してください。

E-3票
(検定料振込証明書)
貼 付 欄

※金融機関の収納印があることを必ず確認のうえ、はがれないようにしっかりと貼り付けてください。

該当する番号を○で囲んでください。

必ず、E-3票(検定料振込証明書)を貼付してください。

平成31年度 秋田県立大学大学院 推薦特別選抜 入学試験 受験票〔博士前期課程〕

B 票

何も記入しないでください。

受験番号

※

志望専攻 ・グループ	生物資源科学研究科 生物資源科学専攻 <u>微生物機能</u> グループ	写真貼付欄 〈 注 意 〉 正面上半身、無 帽、背景なしで 出願前3か月以 内に撮影したもの 縦4cm × 横3cm
志望指導 教 員	<u>秋田 太郎</u>	
フリガナ	<u>アキ タ コ マ チ</u>	
氏 名	<u>秋田 こまち</u> (男・ <u>女</u>)	

第1 志望専攻・志望グループを記入してください。

- 注意事項
- 1 本受験票は、試験当日必ず携帯してください。
 - 2 受験票は、入学手続きの際にも必要となるので紛失しないでください。
 - 3 ※印の欄には記入しないでください。

貼付する写真は、モノクロ、カラーのどちらでもかまいません。写真の裏面に氏名を記入し、はがれないように、しっかりと貼りつけてください。

平成31年度 秋田県立大学大学院 推薦特別選抜 入学試験 写真票〔博士前期課程〕

C 票

受験番号

※

志望専攻 ・グループ	生物資源科学研究科 生物資源科学専攻 <u>微生物機能</u> グループ	写真貼付欄 〈 注 意 〉 正面上半身、無 帽、背景なしで 出願前3か月以 内に撮影したもの 縦4cm × 横3cm
志望指導 教 員	<u>秋田 太郎</u>	
フリガナ	<u>アキ タ コ マ チ</u>	
氏 名	<u>秋田 こまち</u> (男・ <u>女</u>)	

上記受験票と同様に記入してください。

- 注意事項 ※印の欄には記入しないでください。

※B票とC票は、同一の写真を貼付してください。(プリンターから印刷したものは不可)

秋田県立大学大学院生物資源科学研究科の案内

前期課程 生物資源科学専攻

後期課程 生物資源科学専攻

1 生物資源科学研究科の概要

生物資源科学研究科 生物資源科学専攻は前期課程5講座と後期課程5講座を置きます。各講座に属する研究グループは次のとおりです。

1 生物資源科学専攻

① 応用生物科学講座

微生物機能グループ、分子細胞機能グループ、植物機能科学グループ、食品醸造グループ

② 生物生産科学講座

植物生産基礎グループ、植物遺伝・育種グループ、植物分子生理グループ、
分子シグナル制御グループ、植物資源創成システムグループ

③ 生物環境科学講座

陸域生物圏グループ、環境管理修復グループ、地域計画グループ
基礎生命科学グループ

④ アグリビジネス学講座

アグリテクノロジーグループ、ルーラルエンジニアリンググループ（博士前期課程のみ）、
アグリビジネスマネジメントグループ（博士前期課程のみ）、フィールド農学グループ

⑤ 木質科学講座

木質基礎機能グループ、木質材料科学グループ、木質資源利用グループ

2 教員と研究テーマ

研究グループに所属する教員の研究テーマは次頁以降の一覧のとおりです。

各研究テーマ等の詳細については、秋田県立大学ホームページの「地域連携・研究推進センター」内の「研究者総覧」に掲載しておりますので、参考にしてください。

（秋田県立大学ホームページアドレス <http://www.akita-pu.ac.jp/>）

なお、授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

生物資源科学専攻

講座	研究グループ	氏 名	研 究 テ ー マ
応 用 生 物 学 講 座	微生物機能	教 授 福島 淳	土壌や動物腸内等の環境に生息する微生物のゲノム解読およびメタゲノム手法を含む分子生物学的及び生化学的方法による機能解析とその応用に関する研究
		教 授 小嶋郁夫 ^{**}	放線菌の生産する抗生物質の生合成機構解明と新規抗生物質創生への応用 セルロース系バイオマス为原料とした有用抗生物質の発酵生産
		准教授 春日 和	放線菌におけるセルロース系バイオマス分解系の解明、およびセルロース系バイオマスを有効利用して抗生物質生産に応用する研究 微生物におけるD-アミノ酸の機能解析およびその応用研究
		准教授 村口 元	担子菌のモデル生物であるウシグソヒトヨタケを実験材料とし、担子菌の菌糸成長・子実体形成・代謝に関する分子機構の解明とその応用を目指した研究
	分子細胞機能	教 授 岡野桂樹	海洋生物、特にフジツボの付着の分子機構に関する研究 海洋生物の寄生・共生の分子機構に関する研究 秋田犬の毛に関する研究
		教 授 村田 純	癌細胞の運動調節機構、特に運動抑制の細胞内情報伝達機構に関する分子生物学的研究と、細胞運動抑制に重要な分子の調節による癌転移抑制に関する研究
		教 授 穂坂正博	動物の神経伝達・ホルモン分泌といった情報伝達機能を分子生物学的・細胞生物学的手法で解析する研究 生体イメージングプローブの研究
		教 授 小林正之	哺乳動物の発生学：マウス初期胚から樹立できる幹細胞群（ES細胞など）をもちいた、胎仔・胎盤・iPS細胞の形成を担う新たな分子基盤に関する研究
	植物機能科学	教 授 吉澤結子 [*]	植物由来の生理活性化合物の探索とその生合成および利用に関する有機化学的研究
		准教授 水野幸一	植物由来の生理活性化合物の生合成機構に関する酵素化学・遺伝子工学的研究
		准教授 王 敬銘	植物ホルモン生合成機能を調節する生理活性物質の合成と作用機構解析研究
		准教授 常盤野哲生	植物由来の生理活性化合物の有機合成研究および分子の構造解析
		准教授 尾崎紀昭	イネ科植物におけるバイオミネラル化の分子機構解明、および廃棄物系バイオマスの有効活用を目指した応用研究
		准教授 岩崎郁子	植物オリジナルの浸透圧調節のしくみに関する研究 地衣類共生シアノバクテリアの光合成
	食 品 醸 造	教 授 秋山美展 ^{**}	メイラード反応を利用した活性酸素消去能の高い乳素材の開発に関する研究 食後血糖値の上昇抑制効果の高い新規澱粉素材の開発に関する研究
		教 授 陳 介余	食品の品質特性の科学的解明および貯蔵に伴う品質低下の要因解明 食品の安全・安心および品質向上をめざした食品素材の迅速品質計測技術の開発
		准教授 張 菡	食品の美味しさに寄与する成分因子の解明および高品質食品の開発に関する研究 穀物類・油脂類の成分組成特性の解析および品質評価指標の構築
		准教授 石川匡子	食品の嗜好性ならびに加工適正に与える食塩の影響に関する研究 天然素材との相乗効果を利用した塩味を強く感じさせる新規調味塩の開発
		教 授 橋爪克己	酒類原料の特性と麹菌生産物の機能の解明および醸造への応用に関する研究
		教 授 中沢伸重	白神こだま酵母の長寿メカニズムの解析 白神こだま酵母より分離した冷凍耐性株の機能解析

*は休職中を示す。

**平成32年3月退職を示す。

注1）出願にあたっては志願研究グループの担当教員に問い合わせてください。

注2）授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

講座	研究グループ	氏 名	研 究 テ ー マ
生 物 生 産 科 学 講 座	植物生産基礎	教 授 服部浩之	植物による汚染土壌や塩類土壌の修復に関する研究 有機性廃棄物の堆肥化と利用に関する研究 土壌中での有害元素の形態と植物の有害元素吸収抑制
		教 授 渡邊 肇	直播栽培を基軸としたイネの省力・低コスト、環境保全型栽培 作物の収量と品質向上に関する生理・生態的研究 イネの環境応答に関するメカニズムの解明と品種育成・栽培技術への応用
		教 授 小川敦史	浸透圧ストレスに対する作物根系機能発現に関する形態学的、生理学的、分子生物学的研究 環境制御を利用した高付加価値・機能性野菜の栽培方法の確立
		教 授 古屋廣光 ^{**}	各種土壌伝染性植物病害の分子生態的研究 土壌の微生物性診断・評価法の開発並びに植物根の微生物群 集構造の解析
		教 授 藤 晋一	農作物に発生する菌類・ウイルス病の実用的な診断法の開発 分子マーカーを利用した発生生態の解明 化学合成農薬に依存しない防除法の開発
		准教授 頼 泰樹	有害元素を吸収しない、しにくい水稻の開発 有機質肥料施用によるアミノ酸の作物栽培における意義 バイオマス燃料としてもみ殻の有効利用
	植 物 遺 伝 ・ 育 種	教 授 赤木宏守	イネの低温適応および重金属蓄積の分子機構の解明 DNAマーカー選抜とピラミディングによるイネ育種法の開発 突然変異植物の遺伝解析と育種利用
		准教授 櫻井健二	果樹における生殖生理および機能性成分の合成に関連する遺 伝子の機能解析と育種への利用に関する研究
		准教授 高橋秀和	植物の突然変異体の遺伝解析と育種利用 植物のストレス耐性の遺伝解析
		准教授 渡辺明夫	シロイヌナズナを用いた植物の生命プログラムの研究 植物のカドミウム応答反応の解明 シロイヌナズナの異数体に関する研究
	植物分子生理	教 授 鈴木英治	原始的な光合成微生物（シアノバクテリア）から陸上植物へ の、貯蔵多糖生産代謝能力の進化機構 光合成微生物のバイオマスの利用に関する技術開発
		教 授 藤田直子	澱粉の構造や性質が変化した変異体米の作出およびその産業 利用可能性の探求 澱粉生合成メカニズムの解明
	分子シグナル 制 御	教 授 田母神繁	昆虫や植物の生活環で化学生態学的に機能する生物活性物質 の単離・合成、および、活性物質の作用発現メカニズムに関 する有機化学的研究
		准教授 阿部 誠	植物を食べる昆虫と植物との相互関係の化学的手法による解明 昆虫類を用いた生態毒性試験法の開発
		准教授 佐藤奈美子	イネの形を決めるメカニズムについての発生遺伝学的モデル構築 イネの発生時に機能するシグナル伝達物質についての分子遺伝 学的解明
	植物資源創成 シ ス テ ム	准教授 小峰正史	栽培施設での環境調節・制御による生物生産の効率化研究 採算性のある植物工場実現に向けた、システムならびに新規 栽培作物の開発研究
		准教授 原光二郎	植物・地衣類由来の有用物質・タンパク質の生産に関する遺 伝子工学的研究

^{**}平成32年3月退職を示す。

注1) 出願にあたっては志願研究グループの担当教員に問い合わせてください。

注2) 授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

講座	研究グループ	氏 名	研 究 テ ー マ
生 物 環 境 科 学 講 座	陸域生物圏	准教授 井上 誠	豪雨などの気象災害が農作物の収量に及ぼす影響に関する研究 天気図を用いた干ばつや冷夏の発生プロセスの解明 地上・航空機・人工衛星による温室効果ガスの観測と解析
		准教授 木口 倫	環境・生物・農産物中の微量化学物質の動態研究 微量化学物質の迅速・精密分析法の開発
		教 授 金田吉弘 ^{**}	作物の持続的な高品質・多収生産のための土壌及び栽培管理 技術に関する研究
		准教授 佐藤 孝	マメ科・根粒菌共生窒素固定を有効利用した低投入・低環境 負荷農業の確立
		教 授 蒔田明史	ササの開花習性とクローナル特性の進化の探求 環境教育を基とした人と自然との関係性に関する研究
		准教授 星崎和彦	ビッグデータを利用した森林の動態解析 樹木の成長量と開花結実における気候変動の影響抽出 統計モデルを利用した動物の個体数や種子散布パターンの解析
	環境管理修復	教 授 高橋 正	森林地帯の土壌生成と土壌劣化モニタリング 未利用資源を利用した環境修復
		准教授 石川祐一	地域の生物資源を利用した環境修復技術の開発 重金属汚染土壌・塩性土壌など問題土壌の環境修復に関する研究
		准教授 早川 敦	流域スケールの生元素の生物地球化学循環とその最適化に関 する研究 生態系の水質浄化機能とその広域評価・修復に関する研究
		教 授 宮田直幸	生態工学的手法による湖沼等水環境の修復・保全 生物利用による水質浄化・レアメタル等資源回収技術の開発
	地 域 計 画	教 授 長濱健一郎	地域資源の利活用と主体に関する研究 農業生産における環境評価に関する研究
		准教授 中村勝則	地域における農業法人の行動原理と評価手法に関する研究 農業構造の変動と地域資源・環境保全に関する研究
		准教授 渡部岳陽	地域農業の構造分析とその再編起動に関する研究 バイオマス資源を活かした地域活性化に関する研究
		教 授 谷口吉光	コモンズとしての八郎湖の再生に関する研究 持続可能な社会を構築するための地産地消に関する研究
	基礎生命科学	准教授 小西智一	トランスクリプトミクスとゲノミクスのバイオインフォマティクス研究 皮膚の老化機構 機能性食品の作用機作 パラメトリック統計学の応用

^{**}平成32年3月退職を示す。

注1) 出願にあたっては志願研究グループの担当教員に問い合わせてください。

注2) 授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

講座	研究グループ	氏 名	研 究 テ ー マ
ア グ リ ビ ジ ネ ス 学 講 座	アグリテク ノロジー	教 授 露崎 浩	畑作物（ダイズ、ムギ類）の安定・多収を目指した環境保全型生産技術の開発 畑地の難防除雑草の生態解明と制御技術の開発ならびに雑草の生存戦略研究
		准教授 永澤信洋	イネの育種の基礎となる遺伝学的研究（主に胚・栄養生長・花・穂などの形態形成を制御する遺伝的プログラムの解明）
		准教授 神田啓臣	花きの栽培技術（促成栽培や抑制栽培）や繁殖技術に関する研究 福祉や教育の場面への園芸の活用に関する研究（老人ホーム入所者を対象とする園芸活動等）
		教 授 吉田康德	園芸作物の生理生態的特性を活用した生産システムの開発に関する研究 植物成長調整物質を活用した生産技術の開発 園芸作物の組織形態学的研究
		准教授 横尾正樹	受精卵移植を活用した効率的な家畜生産技術の構築と実用化のための研究開発 受精卵体外培養技術に関する工農融合研究
	ルーラルエン 지니어リング	教 授 増本隆夫	広域水文情報を組み込んだAI利用の圃場水管理技術の開発 流域水利用と氾濫を一体化したシームレス解析モデルの開発 と低平地排水リスク評価
		准教授 近藤 正	農業流域における水環境保全のための水管理方法と水資源管理システムの研究 八郎湖における水利用形態と汚濁負荷の流動特性の解明 水田の水質浄化機能評価
		准教授 永吉武志	河川の流れと河床変動との相互作用に関する研究 農業水利施設の性能設計と機能保全・管理に関する研究 サンフィッシュ科外来魚類の遊泳特性と魚介類生息場の定量評価に関する研究
		准教授 山本聡史	小型農業ロボットに関する研究 画像処理を用いた農業機械のスマート化に関する研究 ドローンを用いた果樹園の三次元再構築技術に関する研究
	アグリビジネス マネジメント	教 授 鵜川洋樹	農業経営の展開論理と発展方式に関する研究 土地利用型畜産経営の技術構造と経営評価の分析
		教 授 津田 ** 渉	産地再編期における農協・営農主体（集落営農・法人・家族経営）・関連企業の新たな関係形成及びマーケティング革新の解明
		教 授 荒樋 豊	グリーン・ツーリズムや都市農村交流等の農村活性化に関する研究
		教 授 岡田直樹	農業・農村の持続化に向けた地域体制と政策条件に関する研究 ①主体間の連携によるクラスター体制構築の条件 ②求められる地域戦略組織の特性と政策誘導プロセス
		准教授 酒井 徹	農業環境政策及び食品安全政策に対応した経営・産地対応 有機農産物認証制度導入後の有機農産物市場の展開 有機農業における新規参入の特徴と課題
		准教授 上田賢悦	水田地帯における農業複合化政策の評価と産地・経営対応に関する研究 農業法人における経営者能力の向上と雇用人材の確保・育成に関する研究 農産物直売所の持続的発展方策の解明
	フィールド 農 学	教 授 西村 洋	水稻栽培様式（移植、直播）の機械化システム評価 スマート農業技術（ロボット、IoT等）の効果的運用方法に関する研究
		准教授 今西弘幸	キイチゴ自生種の遺伝資源評価 キイチゴ栽培品種の長期安定生産および普及 ニホンナシの培養変異育種ならびにブドウの省力安定生産に関する研究
		准教授 保田謙太郎	水稻の環境保全型栽培技術の研究 雑草の種生態および種内地理的変異の解明

**平成32年3月退職を示す。

注1）出願にあたっては志願研究グループの担当教員に問い合わせてください。

注2）授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

講座	研究グループ	氏 名	研 究 テ ー マ
木 質 科 学 講 座	木質基礎機能	教 授 山内 繁	機能性木質炭化物の合成とキャラクターゼーション 持続可能エネルギーとしての木質バイオマス利用 木材成分と金属元素の化学的相互作用に関する研究
		教 授 高田克彦	スギ等の森林資源の遺伝解析 樹木の成長・材質の変動と環境応答 森林資源の効率的な利活用に向けた管理手法の開発
		准教授 澁谷 栄	バイオマスの利用技術 森林系及び木質廃棄物の有効活用
	木質材料科学	教 授 中村 昇	長期対応型木造構法開発 熱水分同時移動を基にした木質住環境解析
		教 授 栗本康司	化学加工法を用いた木質資源の有効活用 出土木材など木質文化財の保存処理
		准教授 岡崎泰男	木造住宅の耐震性能向上 木質構造接合部・木質複合材料の開発 実大材破壊機構解明
		教 授 山内秀文	低質・未利用材の機能性木質材料への転換 機能性木材接着技術の開発 木質材料製造技術の高度化・高効率化
		准教授 川井安生	木材中の水分動態の解明と産業応用 新エネルギーを利用した木材乾燥システムの開発 木材・木質材料と音響
		准教授 足立幸司	可撓化やバネ化など、木質系新素材の創製 木材・木質材料の材料特性を活かした家具・内装材の開発
	木質資源利用	教 授 林 知行 ^{**}	木質資源利用システムの構築 木質系複合材料の材料特性の解明
		教 授 佐々木貴信	環境に配慮した木材保存処理技術の開発 環境影響負荷の少ない木質土木構造物の開発
		准教授 渡辺千明	民家の工法と生活文化 地域資源を活用した安心・安全のまちづくり

^{**}平成32年3月退職を示す。

注1) 出願にあたっては志願研究グループの担当教員に問い合わせてください。

注2) 授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。